

議事録

会 議 名	第2回港資源化センター運営業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和7年2月3日（月） 午後2時～午後3時30分
開 催 場 所	みなとパーク芝浦 芝浦区民協働スペース 多目的室 I
委 員	<p><出席者> 5名 青柳委員長、太田副委員長、足立委員、柳井委員、佐藤委員 <欠席者> なし</p>
事 務 局	環境リサイクル支援部みなとりサイクル清掃事務所
会 議 次 第	<p>1 開会 2 議題 ① 第一次審査結果について ② 第二次審査について 3 その他 ① 第1回選考委員会議事録について 4 閉会</p>
配 付 資 料	<p><配付資料> 資料1 港資源化センター運営業務委託事業候補者選考第一次審査結果 資料2 第二次審査採点基準表 資料3 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 資料4 第二次審査の実施に関する留意事項（案） 資料5 第1回港資源化センター運営業務委託事業候補者選考委員会議事録（案） 参考資料 選考委員会委員名簿</p>
会議の結果及び主な発言	
（発言者） 委員長	<p>1 開会 皆さんお揃いになりましたので始めたいと思います。 本日は、ご出席いただきましてありがとうございます。 ただいまから第2回港資源化センター運営業務委託事業候補選考委員会を開催いたします。 本日は、1月中に採点をしていただいた第一次審査の結果を確認し、第二次審査に進出する事業者を選考します。 会議録作成のために本会議は録音していますので、ご了承のほどお願いいたします。 では、事務局から配付資料の確認をお願いします。</p>
事務局	（事務局から配付資料の確認）

<p>委員長</p>	<p>2 議 題 ① 第一次審査結果について 事務局から、事前に第一次審査の採点を各委員に依頼し、採点していただきました。短い期間の中、ご協力いただきましてどうもありがとうございました 応募は、1事業者からありました。 本日は、第二次審査に進む事業者を決定いたします。 集計結果について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局から、集計結果の説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、審査にあたり評価したポイントなどを、各委員から順番に講評をお願いしたいと思います。</p>
<p>A委員</p>	<p>資源の中間処理については、安全確保を中心に概ね良好と受けとめました。ただ、事業の正確性などについての記述が、若干少ないと感じました。 不適物除去や資源の品質確保についても、概ね同様です。実績があるということで、結果的には必要な品質確保がされているのだろうと思いましたが、自主検査のやり方について、具体的な記述が欲しいと思いました。 仕様書通りの記述程度ということで、概ね良好としました。 業務体制については、仕様書通りの配置になっていますが、体制を確保できる人かどうかについては、人が配置されるという程度の記述でした。 どのような経験や知識を持っているか、あるいは責任者にはどういう形で責任者としているか等の記述がありません。 また、法令順守等の研修関係についての記載がありません。 人が配置されている程度であれば、普通程度ということで標準的な評価としました。</p>
<p>B委員</p>	<p>この事業者の実績等、これまでの経緯からは、評価できる部分は大きいと思いましたが、 従業員の人数はよろしいかと思いますが、年齢層がどうなっているのが気になりました。 10年間受注しているということで、もしかすると年齢層が上がってきているのではないかと考えられます。 ベテランとはいえ、もし、高齢の方が頑張っている状態があるとする、世代交代等も考えていく必要があるので、年齢層や選別人員数等について、ヒアリングで聞きたいと思いました。</p>

	<p>また、様式6-1で、用品の劣化等が見られた場合、速やかに交換、と なっていますが、定期的にチェックするような体制があるのかということ も気になりました。気が付かないうちに傷んでいる場合もあるので、確認 したいです。</p> <p>それから、第1回するときにも触れましたが、プラスチックの中間処理の 際の発火を防止するための機器や、仮に発火した際に、すぐに消火できる ような装置、あるいは、発火に備えて、すぐそばに消火器を設置するとか、 さらにひどい場合は、消防署に連携、連絡する等の連携体制等について、 もう少し詳しく知りたいと思います。</p> <p>家具のリサイクル展の方は、責任者を毎日誰か置くということになって いますが、その責任者になれる人が何人ぐらいで、その交代体制等がどう なっているのか、その他、何か起きたときの体制がどうなっているのかを 確認したいです。</p>
C委員	<p>当該事業者が、現事業者であるということもありまして、全体としては 及第点としています。</p> <p>ただ、全体的に、あまり具体的な表記が見受けられないと思いました特 に、家具のリサイクル展については、一般的なことしか書かれておらず、 どのように具体的にやっていくのかということが、あまり書かれていなか ったため、評価を低くしています。</p> <p>また、今回の提案は、中間処理作業に重きを置いた提案になっているせ いか、DXに関しての企画提案がないという印象がありました。</p> <p>この点については、二次審査のときに確認したいと思います。</p> <p>一方で業務体制の項目につきましては、それぞれの業務に対して専門の 責任者が配置され、責任が明確になっているため、この点については評価 をしています。</p>
D委員	<p>資源の中間処理に関する企画提案書については、経験があり、それを踏 まえた内容になっていましたので、具体性がない部分はありますが、自信 をもってこの業務をやっていること、それが継続できていることが、よく わかりました。そういう意味では、安定性の面では評価しました。</p> <p>一方、今後の将来を見据えて、この事業者が継続的に今のレベル、さら にそれ以上のレベルを維持して、港資源化センターの運営を担ってもら うには少し薄いという印象があります。</p> <p>家具のリサイクル展の接遇の部分でも、何をどのように従業員が利用者 に対して接すると、評価が上がるという視点がない。</p> <p>この内容だと、役所からやらされているからやっているとしか見えませ</p>

E委員	<p>んでした。</p> <p>あと、経験のところの評価ポイントになりますが、最初から経験のある人はいないわけで、未経験の人が入ったときにどのように人を育てて、一人前に作業ができる人に育成していくのかという点を、ヒアリングの際に聞きたいと思いました。</p> <p>プロポーザルで1回選定すると、5年は継続して契約する可能性があるため、先ほどの年齢構成の面もありますが、新しい人の採用や、この人手不足の状況の中で、従業員の確保をどうしていくのかという点を、ぜひ聞いてみたいと思いました。</p> <p>また、様式の6-4の2枚目では、現場責任者、各部門責任者は、管理監督するとだけ記載されていて、技術責任者は、技術的な運営を全て統括する技術者とだけ記載されています。具体的な役割分担や、いわゆる組織として回っているのかを企画提案書だけを見て評価することが難しく、普通の点数しかつけられていません。安心のために、二次審査では、詳しく聞きたいと思いました。</p> <p>DX化に全く対応していないという点についてですが、区のホームページにもFAXでの申し込み等の記載がありました。区も対応していないことを感じ、その辺も合わせて対応する必要があるといいのかと思いました。</p> <p>また、この事業者は、既に何年もやっているようですが、過去にやってきた経験が全然反映されていません。</p> <p>例えば、お客様や区民から何かしらのレスポンスや苦情を受けることがあると思いますが、それを次にどう活かすかということが、全く書かれていません。</p> <p>苦情を受けたというのは、提案書には書きにくいと思いますが、更なる業務改善をするためには、過去の経験を踏まえて、さらに業務をどのように改善していきたいのかということが書かれると、具体的な提案になってくると思います。</p> <p>逆に言うと、我々のこの募集要項の書き方を、そういうことを書かせるような募集の方法を書くべきだったと思いました。</p> <p>また、DX化と言っていますが、具体的にどのような人が雇われて、仕事をするのかということが、全然見えてこない企画提案書なので、我々がDX化と言っているにもDXに対応できる人材が雇用されないで全然進まないと思います。</p> <p>ヒアリングのときには、そこを指摘する質問をしたいと思います。</p>
C委員	<p>皆さんおっしゃるように、家具のリサイクル展について、あまり力を入</p>

A委員	<p>れていない印象があるので、もう少し二次審査のヒアリングのときに確認したいと思います。</p> <p>業務を継続して行っていること自体は、本来評価する必要がないはずで す。必要ないのですが、実際に行っており、結果的には問題なく進んでい るのでしょう。</p> <p>前回の選定から、これまでの5年間に、港区と調整し、改善している事 項もあるのでしょう。</p> <p>そういった意味では、書かれている内容が既に取り組みされていて、港区 と調整済みのものもあるのではないかと思います。そういった取り組みと 今後新たに取り組み内容の区別が全然わかりません。</p> <p>5年間も継続してやってきたのだから仕事ができているのだろう、とい うことでしょう。</p> <p>複数社の見積もりやプロポーザルであれば、俄然差がつくと思います。 ただ、実績があり、かつ応募が1社しかないため、どうしてもこれを考 えた採点となってしまいます。</p> <p>実際、ヒアリングで、たくさん質問したいことがあります。</p> <p>先ほども話しましたが、人を配置するが、どのような人が配置されるの かについての記述がないです。</p> <p>どんな人を配置するのか、また、それから新規採用者についても、採用 者研修をするとすると、新規採用者には労働安全衛生法上も新任者安全研 修をする必要がありますが、そのような情報が書いてありません。</p> <p>提案としては、標準で用意したのかもかもしれませんが、本来は、もっと考 えて企画提案をする必要があります。人員を配置して、誰かの研修をし ますぐらいの話では足りません。</p> <p>ただ、おそらくこれで大きな事故もなく、安全に管理をしているので、 優秀な人を採用、配置して送ってきているのだろうというところ です。</p> <p>話はそこから後なので、二次審査で聞くことになろうと思います。</p>
E委員	<p>確かに何か事故が起きたときの管理体制とか、対応が書いてあると、も しかしたら十分なのかと思います。</p>
B委員	<p>これまでの実績の中で、トラブルや苦情が一つもなかったということは ないと思います。</p> <p>何かこれまでにあったトラブルや苦情を出してもらい、それに対して自 分たちはこのように対応して処理した、乗り越えた、ということも聞いて みたいと思います。</p>

E委員	<p>確か、前回の委員会でも発火事故は毎年最低1件、2件は起きているということでしたよね。</p> <p>それと、DX化についても、どのように考えているのか少し具体的な提案などを出してもらえるといいと思います。</p> <p>次回の審査項目としては、もう既に請け負ってらっしゃる実績ある会社には、過去の経験を書いてもらうような、過去の失敗やトラブルがあったからといって、それでマイナスするのではなく、むしろ正しく対応したところは評価するという意味で書いてもらえるといいと思います。</p>
D委員	<p>委員の皆様の良い指摘をいただいているので、二次審査や委員の皆様の助言も含めて、区がこの事業者を育てていかないといけない。</p> <p>だからといって甘えた姿勢は許されない。大事な資源を扱うので、継続的に育成していく必要があると思います。</p>
E委員	<p>この業務は、ずっとこの事業者が受注しているのですか。</p>
事務局	<p>プロポーザルは5年に1回で実施していますが、毎回応募のある事業者は、この事業者のみです。</p>
E委員	<p>東京23区の他自治体の状況も、同じなのでしょうか。</p>
事務局	<p>このような中間処理施設のある自治体は、23区のうち5区しかありません。区によっては、指定管理という方法で包括委託をしているケースもあれば、プロポーザルを実施し、業者を選定している区もあり、契約の方法は様々です。</p> <p>そのため、一律に傾向をとらえることは難しいです。</p> <p>場合によっては、港区と同じようにプロポーザルをして、地元の組合が選定されている自治体もあります。</p>
E委員	<p>わかりました。</p> <p>複数の業者から応募があれば、毎回改善されて、技術的にも改善されていくと思います。</p> <p>ただ、一社の応募であっても、技術的なところは、きちんと見ていく必要があるので、きちんと審査する仕組みが必要なのだと思います。</p> <p>これを書くに至った受注者の責任者、経営層の考え方が出てきていませ</p>

A委員	<p>ん。</p> <p>二次審査では、どのぐらいの思いを込めてやっているかを聞きたいです。</p> <p>改善意欲や、作業現場のこと、働きやすく、効率的で、そして意欲を持って業務に取り組めるようにするにはどうするか等を聞きたい。しかし、企画提案書は、仕様書レベルでしか書いていないわけです。</p> <p>このようなことを書いていないので駄目です、とは言えない。</p> <p>このような形の（事業の）審査については、なかなか競争性が働かないので、難しいところです。</p>
E委員 事務局	<p>港区内に、他に技術をもっている事業者はいないのですか。</p> <p>港区内には、廃棄物処理施設が他にありません。</p> <p>作業員の人数を多く抱えなければいけなければならないので、別の事業者がこの業務を受注するとなると、一度に40人くらいの作業員を、一気に雇い入れる必要があります。</p> <p>もしくは、他に行っている事業をやめて、こちらに配置するなど、いずれにしても少しハードルが高いと考えられます。</p> <p>結果的にそのような諸々の条件が重なって、他の事業者の参入のハードルが高くなってしまう傾向があるのではないかと考えられます。</p> <p>廃棄物業界にとっては、仕方のない問題でもあるのかと思います。</p>
A委員	<p>人を集めるのは大変ですよ。</p> <p>確かに、人を新たに集めてプロポーザルに参加するとなると、とても大変です。</p> <p>他の委託業務も同様で、庁舎の清掃なども、働く人は一緒であることが多いです。</p> <p>特に働く人はプロになりますから、会社が変わるにしても、その人たちが雇わないと成立しないこともあるので、全く違う会社が入るとなると、すごく大変なことだと思います。</p>
E委員	<p>毎日毎日待たなしの業務なので、難しいですね。</p> <p>全体に企画提案書を見ても、どう改善していきたいかという強い思いが読み取れないことが、皆さんも感じている不安ではないかと思いますが、いかがでしょう。</p>
B委員	<p>家具のリサイクル展について、お客様サービスの向上等とありますが、</p>

E 委員	<p>自分が利用者として家具のリサイクル展に行き、いいものがあって購入したいと思っても、支払いは現金のみや、配達方法等の制約があると思います。企画提案書には、公平中立的かつ丁寧迅速なサービスを提供できると書いてありますが、そのうちに他の人に現金で先にお買われてしまうかもしれないです。</p> <p>利用する者としては、そういったちょっとしたことが何だか嫌だと思いつつも、区に意見を言うほどでもない。きっとそういうことはあるのではないかと思います。</p> <p>また、最近は、他のリサイクルショップがどんどんサービスを上げていくので、こちらがついていけているのか、どうしても比較してしまいます。</p> <p>家具のリサイクル展はサービス業で、中間処理作業の方は技術や安全性リスク対応等の問題があり、そういう二つの業務をうまくマネジメントするのは、かなり大変だと思います。そこをどう対応していくのが難しいですね。</p> <p>将来的に別々の事業者にした方がいいと思われるほど、業務内容が違ってくると思います。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、中間処理業務と家具のリサイクル展の運営は、かなり性質が異なりますが、複数の事業者がそれぞれの業務を受注することは、施設的な事情があり難しい状況です。</p> <p>加えて、敷地が、港区ではなく東京二十三区清掃一部事務組合の敷地の中に建っている港区の施設という事情もあり、家具の運び出しや、買った人がどのように購入家具を受け取りに来るかという方法にも制約があります。</p> <p>その制約がある中で、どう工夫してやっていくかということが非常に重要になってくるかと思います。</p> <p>中長期的には区が、別の代替地を準備して、この事業だけを切り分けて運営するというのも、今後考えていく必要があると認識しています。</p>
委員長	<p>この意見交換を経て、資料1の点数を変更したいというご希望があれば、ここで承りたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
各委員	<p>(点数の変更希望はなし。)</p>
委員長	<p>わかりました。</p> <p>それでは、一次審査の評価点数については、この点数で決定してよろし</p>

	いでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	では、一次審査の通過事業者は、募集要項では3社程度としています。今回の事業者は、一次審査通過の基準である6割以上の点数なので、この事業者を一次審査の通過事業者としてよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	それでは、二次選考に進むのは事業者Aとします。 ただ、皆さんがここでご指摘いただいたような指摘点はたくさんあるということで、場合によっては次のプレゼンテーションの際に質問を投げかけ、確認することになると思います。
委員長	② 第二次審査について 議題②の、第二次審査について事務局からご説明をお願いします。
事務局	(事務局から説明)
委員長	ありがとうございました。 今説明した内容についてご意見がありましたら、お願いします。
E委員	今回のプレゼンテーションは、このプロポーザルに基づいてということになりますと、我々が先ほど議論した問題点が、そのままプレゼンテーションで繰り返されることになるわけですが、どこまで突っ込んでいいのでしょうか。 提案書類に従ってプレゼンテーションするということは、具体性がないということを経験で指摘することになります。
D委員	あらかじめ一次選考での議論や委員からの意見を事業者に伝えることは可能でしょうか。
事務局	例えば、今回の選考委員会で、こういった意見が出ましたということ、あらかじめ事業者伝えておき、事前に事務局で資料を預かるなどして、委員の皆様にも事前にお配りし、その上で、二次審査でそれを基に、疑問点を質問するというのも一つの方法かと思います。

D委員	その方が、レベルがアップした議論ができるかと思います。
E委員	事業者も、回答が事前に用意できますよね。 実際にどういう人が働くのか、どういう資格を持った人が配置されるのか等は、プレゼンしたその場で回答することが難しいこともありますよね。
B委員	資料4（3）に、補足する資料の映写、配付は可能だと書いてあるので、事前に、今回指摘があったことを事業者伝えて、事業者の方でその補足資料を作ってきて、その場で見せるなり配付するなりしていただければいいのではないのでしょうか。
A委員	質問事項ではなく、もう既に要求資料が決まっていればですよ。 提出のあった企画提案書では、事故等への対応、対策が不十分だから、という質問では難しいと思います。
事務局	例えば、トラブルに対して、どう対応しましたか、ということを事前に質問し、当日は回答を書類で事前に配付しておくという方法だと、審査時間の配分もしやすいかもしれません。
A委員	ただ、それは二次審査事項ではなく、一次審査事項かもしれません。 個人的には、提案資料の不十分だった点を追加で出してもらい、一次審査をする方法もあろうと思います。 ただ、時間が短く、とてもそんなことはできないので、二次審査に反映させることになると思います。
E委員	二次審査が始まる前に配付してもらい、こちらはそれに対して十分かどうか、ヒアリングするというのはどうでしょう。
事務局	二次審査基準の中でも、業務の危険性や課題を的確に把握し、と書いてあります。そういった過去の経験等を把握し、どのように対策を考えているか、二次審査で評価していただければと思います。
A委員	二次審査の評定表は事業者も把握していますよね。 公募するときの公表の資料ですよ。

D委員	選考方針は公開資料なので、事業者も把握しているはずです。
A委員	<p>この審査資料に沿った、説明をちゃんと作ってあげてくださいね。</p> <p>一般的な事業報告ではなく、この審査項目に沿ったプレゼンを重点的にしてもらい、審査ができると思います。</p> <p>委員が点数を付けやすいように、思いを込めて、審査項目に沿ってプレゼンしてください、と言うしかないのではないかと思います。</p> <p>一次の書類審査で不足しているものもプレゼンテーションで審査できればいいです。</p> <p>審査項目に沿った資料になっていれば、点数もつけやすいです。</p>
E委員	<p>この資料4のプレゼンテーションの実施に関してですが、第一次審査対応の企画提案書に基づきプレゼンテーションを行ってください、という点を、提案書に基づきではなく、こちらの採点基準に基づいたプレゼンテーションとしたほうがいいと思います。</p> <p>採点基準を明確に出しているのがわかるように変えた方がいいのではないかと思います。</p>
A委員	<p>紙ベースになったらもっといいですよ。</p> <p>こんなことをやって、こういう改善をしてよくなっているということを資料で出してくれれば審査もしやすい。</p>
D委員	基本的には、提案書が充実していたら、このような議論はないと思います。
B委員	質問のときには、どの人がどこの質問をするのかは決めず、自由に質問をするのでしょうか。
E委員	そうだと思います。
A委員	<p>時間的には、1人が二、三項目の質問と思います。</p> <p>ヒアリングは20分で、委員が5人、一人当たり3～4分なので、3つくらいの質問が最大かと思います。</p>
B委員	事業者の回答が短ければいいですが、変に長かったり、要点を得ないまま、長く時間だけが過ぎてしまうと困るので、そのあたりは事務局でもう少し要点を短くしてください等、言ってもらえることはできますか。

E委員	資料4の1(2)の、「プレゼンテーションの実施に関して」ですが、企画書提案書に基づきではなく、採点基準に対応させてと修正した方がいいと思います。
委員長	いかがでしょうか。 ということで、この1ヶ所の修正でよろしいですか。
事務局	事業者にあらかじめ伝えておく内容として、まず審査基準に基づいてプレゼンテーションを行ってくださいということと、あと、今回の選考委員会で出ました指摘事項に対する回答を、あらかじめ用意をしていただき、書面で配布のうえ、その内容もプレゼンテーションに含めて回答していただくということでよろしいでしょうか。
E委員	時間的に大丈夫ですか。
A委員	選考委員会で意見があったので、二次審査の項目に沿って、その範囲でプレゼンテーションを行ってもらうしかないですね。
E委員	では、回答は資料でいただき、資料で審査するということがよろしいでしょうか。できたら事前にいただきたいですね。
A委員	わかりやすく具体的な資料を、画面に映すだけでもいいですけど。
委員長	提出のあった企画提案書に書いていないことについて、今日の選考委員会で指摘があったことをお伝えして、事前に回答をいただくということでよろしいでしょうか。
事務局	先ほど、質問や回答について、簡潔に回答するという点も併せて追記したいと思います。
D委員	「採点基準」という言葉が出てきていますが、この第1回目の方針には、「採点基準」という言葉が出てきていません。「評価項目」という言葉なので、そちらに合わせた方がいいかと思います。
委員長	他には、よろしいですか。 では、以上の内容を修正したうえで、承認ということでよろしいでしょ

	うか。
各委員	異議なし
	3 その他
	① 第1回選考委員会議事録について
委員長	では、資料5の議事録について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(事務局から説明)
委員長	ありがとうございました。 では、この内容でよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
委員長	予定された議題が終了いたしました。 最後に事務局からの連絡事項はありますか。
事務局	(事務局から次回の日程について説明)
委員長	どうもありがとうございました。 本日は以上をもちまして第2回選考委員会を終了いたします。 本日はお忙しいところどうもありがとうございました。
	4 閉会
	【次回（第3回選考委員会）日程】
	日 時：令和7年2月19日（水） 18時30分から20時まで
	会 場：港区役所 9階 研修室